



この冬はどてらがわが家の暖房具
作/竹内 金剛坊

2008年 10月
題 エコ

【竹内 金剛坊 さん】
原油高の折、どてらを着れば体も温まり、エコにも。祖母が作ったどてらで温かく寝た頃が懐かしい。

【西沢まもるの一言】
「どてら」と聞いただけで、温かくなりますね。私も温かくて軽くて動きやすいドテラを探します！



草取りの帽子の汗へ風を入れ
作/松山 あきら

2008年 7月
題 汗

【松山 あきら さん】
草取りをしていると、鹿を伝って汗がぼとり。そんな時の事を作句しました。

【西沢まもるの一言】
この風でまた10年生き延びるぞ！なんて叫びたくなっちゃいますね。



喜びはその日が無事に暮れる時
作/てくてく

2008年 4月
題 喜ぶ

【てくてく さん】
夕方になり家族が帰ってくると、「ああ、無事に一日が過ぎた」とほっとします。まもる先生、選んで頂きありがとうございます。

【西沢まもるの一言】
てくてくさん、実感ですね。そして私の場合は『また一日が終わっちゃったア…』です。



犬小屋がいびつで犬の にが笑い
作/しゃくなげ

2008年 1月
題 笑う

【しゃくなげ さん】
日曜大工で作ってはみたが、いびつな犬小屋。犬は笑っていたことだろう。結局喜んで入ったのだが…。

【西沢まもるの一言】
犬って、へんな小屋でも文句を言わないんですね。犬はエライ！



世の怒りボケ防止には役立つ
作/ニューカマー

2008年 11月
題 怒り

【ニューカマー さん】
時の流れに身はゆだねても、心はいつもプラス志向。明日を夢見て、ただひたすらに。going my way.

【西沢まもるの一言】
あまり怒りすぎても、血圧が心配になります。程々がだいじかも。

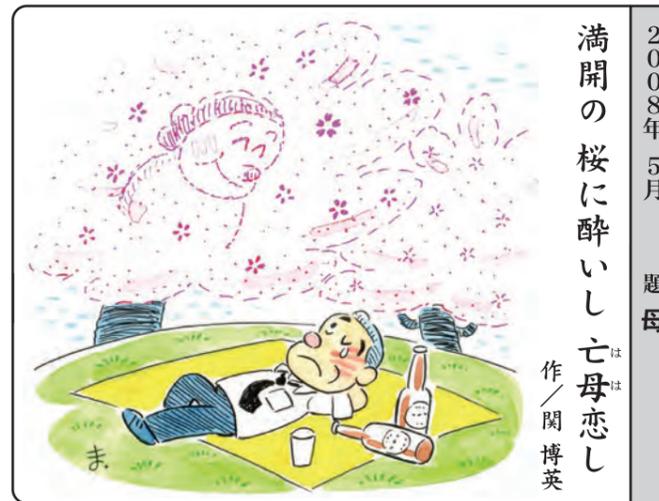


睡蓮の花に蛙も涼しそう
作/堀内 花木瓜

2008年 8月
題 涼しい

【堀内 花木瓜 さん】
上田ハケ堂で、睡蓮と蛙が仲良く並んでいるのを見て詠みました。蛙と一緒に水に入りたい暑さです。

【西沢まもるの一言】
この号が出るころは、秋風が吹いてくれるのでしょうか。蛙がうらやましい夏でした(汗)。



満開の桜に酔いしれ亡母恋し
作/関博英

2008年 5月
題 母

【関 博英 さん】
満開に咲いた桜の美しさに感激し、この気持ちを亡き母と共感できたらいいのかなと思いました。まもる賞、恐縮です。

【西沢まもるの一言】
しみじみとお母さんを想う皆さんのお気持ちを考えて、選ぶのに迷いました。



児に返り十を数えて温まる
作/中田 つね

2008年 2月
題 温まる

【中田 つね さん】
人は二度幼児(ボウ)になると言いますが、年を重ね、今現実となりました。幼児の様に可愛くはないけれど…。

【西沢まもるの一言】
中田さん、温まりすぎて湯当たりは困りますよ。程々にね。



さっそうと走り出て行く諭吉どん
作/小林 伸風

2008年 12月
題 走る

【小林 伸風 さん】
諸物価の高騰の年でした。そんな中で少しは居座って欲しいものの代表格に思いを馳せました。

【西沢まもるの一言】
全く諭吉さんて方は落ち着きのない人ですね。すぐ出て行ってしまいます。



声高で内しよ話の老人
作/中田 つね

2008年 9月
題 高い

【中田 つね さん】
久しぶりの友と「耳も遠くなってねエー」と、笑いながら大きな声で…。ここだけの話をした時の一句です。

【西沢まもるの一言】
わが家も含めて、この近所でも見られる光景です。でもヒソヒソ話も如何なものか！



今もなお形見の腕時計動いてる
作/雪うさぎ

2008年 6月
題 父

【雪うさぎ さん】
親父が亡くなって28年。今でも形見の腕時計は時を刻み続けながら見守っていてくれる気がします。

【西沢まもるの一言】
息子よがんばれ…と、励まし続ける形見の腕時計。泣けました！



転んでも泣かない孫の得意顔
作/雪ダルマ

2008年 3月
題 泣く

【雪ダルマ さん】
孫が幼稚園の頃、勢良く転んで目に涙を浮かべながらも、口を一字に結んで泣きませんでした。その顔が印象深く残っています。

【西沢まもるの一言】
お孫さんに感動大賞を上げたいですね。